

みずべの がっこう

水辺の楽校プロジェクト

～子どもたちの身近な自然体験の場～

1. 現代の子ども達の状況

屋外で遊ばない、集団で遊ばない
→自然体験、生活体験の不足

2. 水辺が子ども達のために担うことができる役割

遊びの場、自然体験の場、自然学習の場
→子ども達の健全な成長

3. 水辺の楽校プロジェクトとは

・子ども達の水辺の遊びを支える地域連携体制の構築

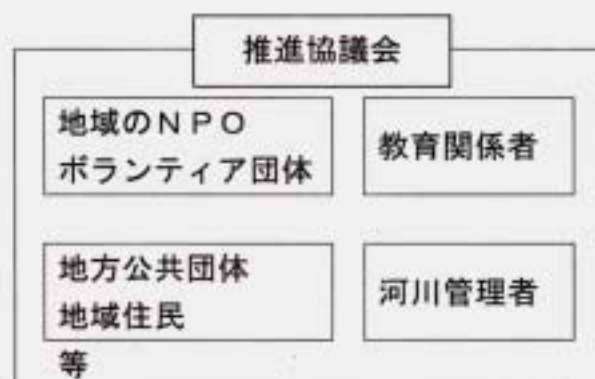
NPO、ボランティア団体等の地域の方々と協力しながら、水辺が自然体験の場、遊びの場として活用されるような仕組みをつくります。

・自然環境あふれる安全な水辺の創出

自然の状態を極力保全、あるいは瀬や淵、せせらぎ等の自然環境を創出するとともにアクセス改善のための緩傾斜河岸の整備等を通じ、子ども達が自然と出会える安全な水辺をつくります。

4. 登録市町村制度

地域の方々の協力体制ができており、優れた水辺整備の構想を持っている市町村を募集により登録します。登録市町村は、地域のNPOボランティア団体等を含めた推進協議会を作り、水辺の学校計画を策定します。



プロジェクトのメニュー例

・水辺へのアクセスの確保

急傾斜の河岸に階段を設置

・安全への配慮

安全教育の実施

危険箇所の改修

・情報の発信

危険箇所の把握と周知

川へのルール周知

生物調査・水質調査

自然観察会等の開催